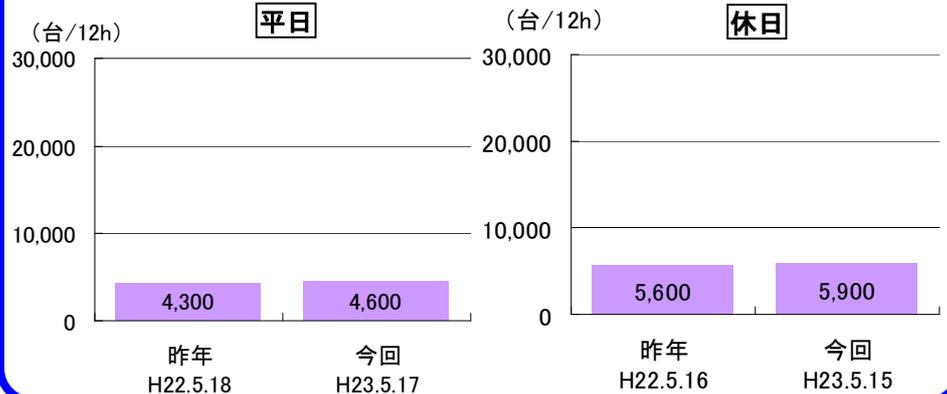


1. 断面交通量の変化 (H22.5月とH23.5月の交通実態調査結果比較)

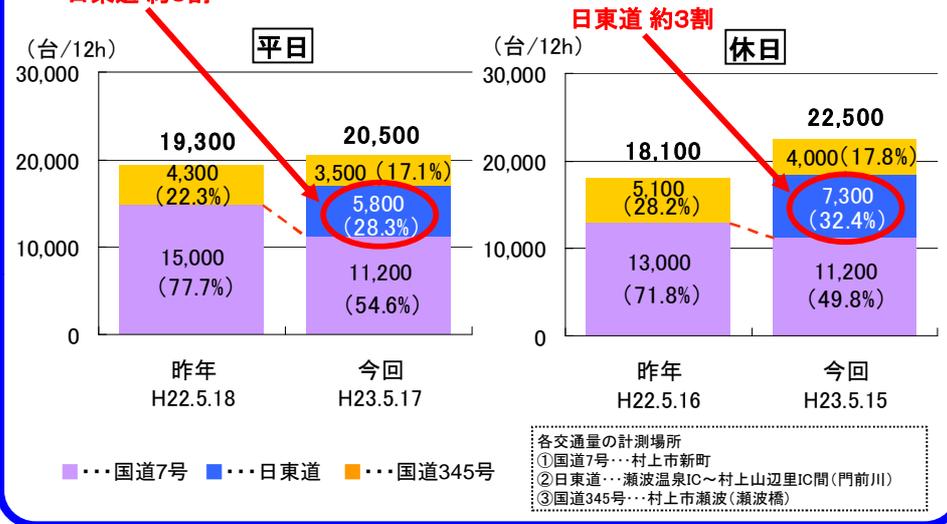
- 村上市街部の断面交通量では、平日・休日ともに約3割の交通量が日東道を利用
- 荒川断面では、平日で約4割、休日で約5割が日東道を利用し、昨年と比較して日東道の交通量は2倍以上に増加
- 村上市街部断面、荒川断面ともに、並行する国道7号及び国道345号から日東道に交通が転換



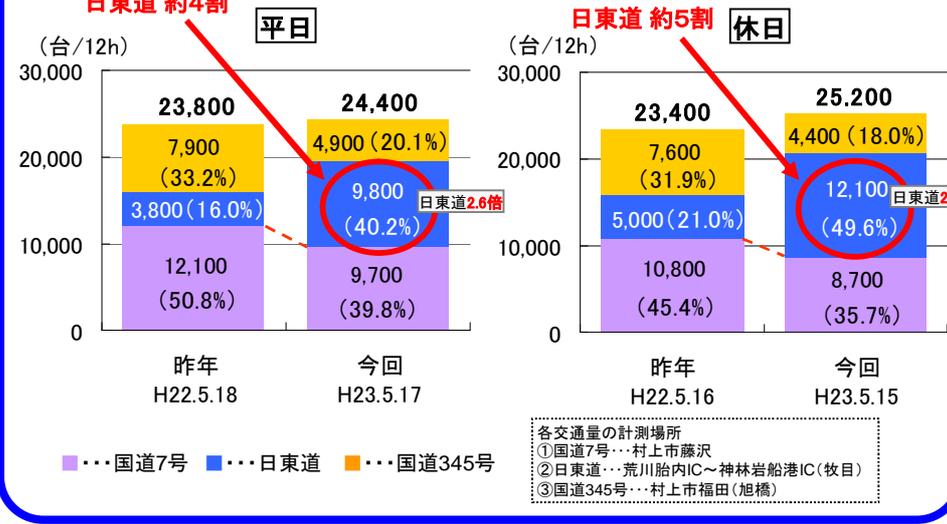
府屋地区(国道7号)の断面交通量 [交通量データ: 7時~19時]



村上市街部の断面交通量 [交通量データ: 7時~19時]



荒川断面の断面交通量 [交通量データ: 7時~19時]



2. 大型車の交通転換 (H23.5月の断面車籍地調査結果比較)

- 村上市街部断面では、大型車の約6割が日東道を利用
- 特に長距離交通と考えられる県外・長岡ナンバーの転換が顕著

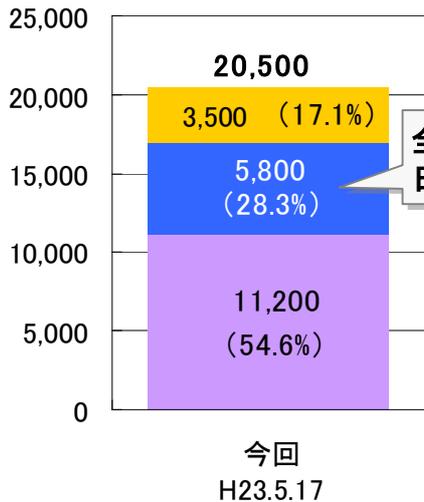


大型車の交通転換

交通量データ: 7時~19時

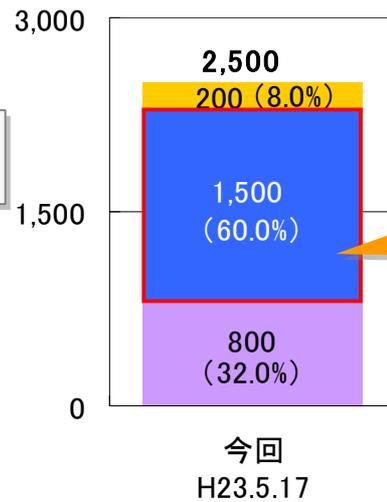
■...国道7号 ■...日東道 ■...国道345号

村上市街部の断面交通量(全車両)
(台/12h)



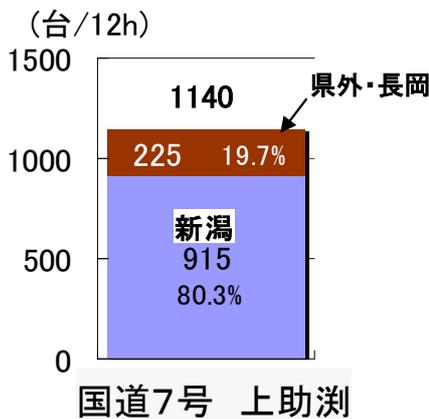
全車種では約3割が日東道を利用

村上市街部の断面交通量(大型車)
(台/12h)

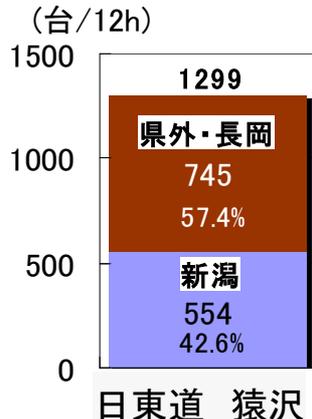


大型車の約6割が日東道を利用

大型車のナンバー構成 (断面車籍地調査結果)



国道7号は、8割が新潟ナンバー



日東道は、県外・長岡ナンバーが半数以上

・断面車籍地調査とは…断面を通過する車両のナンバープレートに記載されている地名(車籍地)を目視で読み取り
・平成23年5月17日調査 (調査時間帯: 7時~19時)

長距離交通が、国道7号から日東道に転換

3. 渋滞の緩和

●交通の転換により、慢性的に発生していた国道7号村上市街部の渋滞が緩和



■国道7号 村上市街地の渋滞緩和



大型車等の通過交通で混雑する村上市街地(国道7号)



交通量の転換により、渋滞が緩和した村上市街地(国道7号)

4. 地域からの声 (ヒアリング結果より)

●地域へのヒアリングの結果、

「市街地交通から大型車が減り、安全性が向上した」

「運搬が時間短縮により効率的になった」などの意見が

○教育関係者からの声

大型車両が大幅に減少！

- ・学区に入り込むトラックや大型車が大きく減った。
- ・学区に入り込む車が大きく減ったので、安全性は高くなったと思う。(岩船地区学校関係者)



○食品製造関係者からの声

時間短縮により運搬が効率的に！

- ・村上の養鶏場から鶏卵を運搬するにあたり、高速道路開通による時間短縮のメリットが大きい。
- ・毎日の運搬が時間短縮により効率的に。またドライバーも高速道路の方が楽である。(村上市内養鶏業関係者)



○物流関係者からの声

ドライバーの疲労軽減に効果！

- ・豊栄ICから村上市内中心部までの配送が20分も時間短縮できた。ドライバーの疲労軽減になる。
- ・高速道路が出来たことにより、安全安心に走行できるようになった。(ショッピングセンター配送関係者)

